

VMware SD-WAN by VeloCloud: Design and Deploy (VMware SD-WAN by VeloCloud : 設計と導入)

コースについて

スケーラブルで安全かつ管理が容易な VMware SD-WAN™ by VeloCloud® をお客様は求めています。成功へと導くソリューションを提供するためには、VMware SD-WAN アーキテクチャを理解し、お客様のユースケースを解決できる各機能の仕組みを把握し、導入、管理、拡張が容易な VMware SD-WAN を設計できることが必要です。

コースの目標

このコースを修了すると、次のことができるようになります。

- VMware SD-WAN アーキテクチャについて説明する
- VMware SD-WAN の主要コンポーネントについて理解する
- さまざまな Managed Service Provider (MSP) のユースケースと導入オプションについて理解する
- VMware SD-WAN Gateway および VMware SD-WAN Edge を展開する
- VMware SD-WAN Cloud VPN を管理する
- パフォーマンスとスケーラビリティを意識して VMware SD-WAN を設計する
- パートナー ゲートウェイ ハンドオフを構成する

対象者

顧客向けの VMware SD-WAN ソリューションの設計または SD-WAN ネットワークの管理に携わるマネージド サービス プロバイダー

前提条件

- ルーティングとスイッチの技術に関する深い理解
- VPN テクノロジーなどのセキュリティ ソリューションに関する深い理解
- VMware SD-WAN VTSP 認定の取得
- 「VMware SD-WAN by VeloCloud: Deploy and Manage (VMware SD-WAN by VeloCloud : 導入と管理)」コースの修了

受講方法

- 教室開催
- ライブ オンライン
- [オンサイト トレーニング](#)

使用製品

- VMware SD-WAN by VeloCloud

コースのモジュール

1 コースについて

- 概要およびコースの流れ
- コースの目標

2 アーキテクチャとコア機能

- エンタープライズ WAN の現状と成長へ向けた制限の評価
- VMware SD-WAN アーキテクチャの主なコンポーネントと機能の理解
- VMware SD-WAN コンポーネントの配置とコンポーネント間のやり取りの説明
- VMware SD-WAN のコア バリューの差別化要因の把握
- VMware SD-WAN の主な機能の理解
- SD-WAN のサイト展開に関する VMware SD-WAN の差別化要因による効果の評価

3 VMware SD-WAN MSP のユースケース、展開モデル、ライセンス モデル

- VMware SD-WAN ユースケースの比較
- VMware SD-WAN 展開モデルの把握
- 各種 VMware SD-WAN ライセンス モデルの説明

4 ゼロタッチ プロビジョニング

- VMware SD-WAN Edge のプロビジョニング
- VMware SD-WAN Edge アクティベーションのワークフローの理解
- VMware ESXi™ への VMware SD-WAN Virtual Edge のプロビジョニング

5 VMware SD-WAN Cloud VPN

- VMware SD-WAN Cloud VPN の構成
- Cloud VPN 展開時における可用性の設定の検討
- Cloud VPN 内でのパケット フローの理解

6 ルーティングと拠点の設計

- SD-WAN オーバーレイおよびアンダーレイ ルートのアドバタイズの管理
- オーバーレイ フロー制御
- BGP を使用した VMware SD-WAN の設計のベストプラクティスの理解
- 拠点設計のオプションの評価

7 VMware SD-WAN のセキュリティ

- VMware SD-WAN のセキュリティ アーキテクチャの説明
- VMware SD-WAN Edge のセキュリティ 機能の理解

8 高可用性設計

- Standard および Enhanced High Availability (HA) の違いと Virtual Router Redundancy Protocol (VRRP)

9 パフォーマンスと拡張性を実現する設計

- スケーラビリティとパフォーマンスを左右する SD-WAN 側の要因の把握
- VMware SD-WAN Edge のクラスタリングの理解

10 パートナー ゲートウェイの構築

- VMware SD-WAN Gateway の機能と役割の理解
- VMware SD-WAN Orchestrator からの VMware SD-WAN Gateway のプロビジョニング
- ESXi への VMware SD-WAN Gateway インストール手順の実施
- BGP がパートナー ゲートウェイ ハンドオフと連携する仕組みの理解

11 MSP の運用とバージョン管理

- 適切なドキュメントの特定
- アカウント管理の実施
- VMware SD-WAN のアップグレード手順の理解
- VMware SD-WAN Edge と VMware SD-WAN Gateway のアップグレードの実施

お問い合わせ

このコースに関するご質問や登録方法については、japan-education@vmware.com までお問い合わせください。



ヴァイエムウェア株式会社 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5 浜松町スクエア 13F www.vmware.com/jp

© 2020 VMware, Inc. All rights reserved. 本製品またはワークショップ資料は、米国および国際的著作権法および知的財産法によって保護されています。VMware 製品は、<https://www.vmware.com/jp/download/patents.html> のリストに表示されている 1 件または複数の特許対象です。VMware は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。他のすべての名称ならびに製品についての商標は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

VMware は、一般的に認められている業界基準と慣例を使用して妥当な方法で、ここで記載されているワークショップ サービスを提供することを保証します。上記明示保証は、VMware が提供するサービスおよび成果物、ならびにそれらのサービスおよび成果物から得られる結果に関する、明示、黙示、法定、その他のあらゆる保証（商品性に対する黙示保証および特定目的に対する適合性の黙示保証を含みます）に代わるものです。VMware は、お客様に対して特定または参照した、いかなる第三者のサービスまたは製品に対しても責任を負いません。本ワークショップにおいて提供される資料（以下「ワークショップ資料」といいます）の著作権は VMware に帰属します。VMware は、お客様が許諾を受けた VMware 製品についての社内での理解、利用、運用を促進する目的に限り本ワークショップのお客様にワークショップ資料の使用および合理的な範囲でコピーを作成することを許諾します。前述の明示された場合を除き、本ワークショップの条件の下で許諾された知的財産権およびその他のいかなる許諾された権利を他者に譲渡することを禁止します。米国内のお客様の場合、サービスに関する VMware の契約当事者は、VMware, Inc. になります。米国外のお客様の場合、サービスに関する VMware の契約当事者は、VMware International Limited になります。